

ラ・フォーレ吹屋の指定管理者が1年で撤退!? なぜか



ラ・フォーレ吹屋について

石部 誠 議員



をいただいたが、想定しきれていない部分があった。地域との関わりも十分でなかったと反省している。



介護保険料について

石部 指定管理（5年）を担った下電ホテルがわずか1年で撤退。吹屋のブランドイメージの低下や、市民の税金を投入した事業であり、現状および原因と責任をはっきりさせ教訓を導き出すべき。

産業経済部長 指定管理者が、事業譲渡により旅館業の許認可がなくなり、指定管理を継続できない状況。指定管理者は公募され審査会で選ばれた。全体的な計画が整い運営方針も表明はされていた。しかし債務超過で経営状態が悪化し、設備投資もできない状況になり、このような結果となった。選定審議会で選ばれ議会で議決

健康福祉部長 介護保険サービスの需要は増加している。課題は介護職員の人材不足やサービスの質の確保と均質化であり、介護職確保のための事業所支援や、介護職のスキルアップ講座の開催を行っている。介護保険料は県平均より若干高いが、基金を取り崩して据え置いている。介護サービスの地域差が生じないよう独自の制度を展開していきたい。

公共交通利用促進キャンペーンを行うべき



公共交通について

宮田 好夫 議員



宮田 公共交通利用促進キャンペーンをする必要があると思うがどうか。

市民生活部長 先行事例では効果が出ているので検討する。

宮田 他市で取り組まれているような運賃最大200円キャンペーンや無料DAYを設定してみたらどうか。

市長 岡山市が昨年行った事例では利用が増えたと聞く。実施に当たって財源や乗務員などの課題はあるが運行事業者と協議していきたい。

宮田 次の公共交通計画をどう策



ライドシェアとは

地域交通の「担い手」「移動の足」不足解消のため、自家用車・一般ドライバーを活用した運送サービスの提供を可能とする自家用車活用事業。



災害時における市の対応について問う



災害時の対応について

倉野 嗣雄 議員



倉野 4月16日の夕方、市内北東部の電ひょうによる災害について、本市の考えと支援策を問う。

市長 農業者支援は必要。ブドウは本市の主要作物であり、予備費での対応を考えている。建物については、見舞金の基準に当たらない。しかし被災があったのは事実であり、現地で確認も行っている。

倉野 私は天災であると思うが、何か支援はできないか。

市長 リフォーム補助金同等の支援策を検討する。対応に向け今少し時間が欲しい。



大きな固まりの電ひょう



町内会支援について

倉野 市内における限界集落の現在の数と市の対策を問う。

市民生活部長 市内の大字単位で102集落中46がこの概念に当てはまる。町内会の維持・活動支援としてマンパワー不足に対応すべく、令和6年度より町内会が市外在住者と活動に取り組む際の、助成金制度も設けている。今後、他の自治体も参考に対策を考える。

ごみ出しが困難な世帯に戸別回収を



携帯トイレの備蓄の現状と今後について問う

川上 博司 議員



納袋については1305袋であり計画目標値に全然達していないので、令和6年度に追加購入を予定している。



ごみ出し支援について

川上 障害や高齢などの理由でごみ出しが困難な世帯を対象に可燃ごみの戸別回収を実施すべきではないか。

市長 環境部門と福祉部門が連携して、ごみ出し困難世帯の基準や戸別回収の方法など他の自治体の取り組みを参考に、早急に実施に向けて進めていきたい。



携帯トイレ